

2022 年 11 月 15 日

新型 BMW X7 を発表

圧倒的な存在感を放つ、新しい BMW ラグジュアリー・デザインへ進化

ディーゼル・モデルに加え M パフォーマンス・モデルにも 48V マイルド・ハイブリッド・システムを搭載

ラグジュアリーに相応しい快適性を高めるエグゼクティブ・ドライブ・プロを標準装備

日本初認可のハンズ・オフ機能等の充実した安全機能・運転支援システムを搭載

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長:クリスチャン・ヴィードマン）は、最上級ラグジュアリー・モデルの 1 つである「BMW X7（エックスセブン）」の新型モデル（一部改良）を、全国の BMW 正規ディーラーにおいて、本日より販売を開始すると発表した。納車は、本年 12 月以降を予定している。

BMW X7 は、高級感溢れる威風堂々としたデザインと、ラグジュアリー・モデルに相応しい乗り心地、最大 7 人乗りを可能とする高い実用性を備えた、BMW のラグジュアリーな世界観を両立させたモデルである。

一部改良の新型モデル BMW X7 は、先に発表された新型 BMW 7 シリーズと同様、印象的な上下 2 分割のツイン・サーキュラー&ダブル・ライトに加え、暗闇で光を放ち存在感を増すアイコンック・グロー・キドニー・グリルからなる、新しい BMW ラグジュアリー・フェイスを採用し、路上での圧倒的な存在感を放っている。

新型 BMW X7 は、日本においては、BMW 社が初めて国土交通省からの認可を取得した、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能なドライバーの運転負担を軽減し安全に寄与する運転支援システム「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」の搭載等、先代モデルに搭載の最先端の運転支援システムに加え、AR（拡張現実）機能搭載の「ナビゲーション・システム」や、事前に登録した駐車操作により、ステアリング操作、ブレーキ操作を自動で行なう事が可能な「パーキング・マニユーバ・アシスト（駐車経路自動誘導）」機能を加えた「パーキング・サポート・プロフェッショナル」を新たに標準装備する等、多くの最新テクノロジーを採用している。

BMW X7

メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	メーカー希望小売価格
BMW X7 xDrive40d Excellence	¥ 13,390,000
BMW X7 xDrive40d M Sport	¥ 13,860,000
BMW X7 M60i xDrive	¥ 16,980,000

■ 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格で

す。

- 右ハンドル仕様、AT 仕様。

デザイン

新型 BMW X7 のエクステリア・デザインは、BMW のラグジュアリー・モデルに相応しい圧倒的な存在感、ダイナミズム、威風堂々たる佇まいを放っている。ヘッドライトは、BMW のラグジュアリー・モデルで採用の上下 2 分割のツイン・サーキュラー&ダブル・ライトとし、上部にはターン・インジケーターを含む LED デイタイム・ランニング・ライト、下部にはアダプティブ・マトリックス機能を採用しコーナリング・ライト機能も併せ持つ LED ヘッドライトとしている。BMW デザインの象徴であるキドニー・グリルは、存在感と力強さを主張するデザインに進化し、クロームで縁取ることで斬新かつ高級感溢れ、さらに、暗闇で光を放ち存在感を増すアイコニック・グロー・キドニー・グリルとする事で、夜間における存在感を増している。

また、新型 BMW X7 では 23 インチのアロイ・ホイールを新たにオプション設定し、スポーティ感を更に高めている。

インテリアにおいては、12.3 インチのメーター・パネルと、14.9 インチのコントロール・ディスプレイを一体化させ、ドライバー側に湾曲させた最新のカーブド・ディスプレイの採用により、優れた視認性と高い操作性を実現している。トランスミッションのシフト・レバーを廃止し、BMW 特有の iDrive コントローラー回りをすっきりとさせる事で、運転席まわりの空間を広くし、モダンな印象を与えている。なお、シフト・レバーの廃止に伴い、パドル・シフトは全てのモデルに標準装備としている。ナビゲーション・システムにおいて、目的地をセットした場合、14.9 インチのコントロール・ディスプレイには、AR 機能により、前方のリアルタイムでの映像が映し出され、さらに、進行方向を表示する矢印が表示される。先代モデル同様に、6 名乗車仕様もしくは 7 名乗車仕様を選択でき、特に、6 名乗車仕様においては、全ての乗員のシートを肘掛けのある個別のシートとすることで、疲労を感じないリラックスした長時間のドライブが可能となっている。

M Sport、M パフォーマンス・モデル

BMW X7 xDrive40d M Sport

M Sport モデルは、先代モデルよりも、よりスポーティさを高めるため、主に以下を装備している。

- M エアロダイナミクス・パッケージ
- M バッジ (サイド・パネル)
- M ハイグロス・シャドーライン
- ハイグロス・ブラック・ルーフレール
- M スポーツ・エグゾースト・パイプ・デザイン
- M サイド・シル
- M 専用インストルメント・パネル・デザイン (スポーツ・モード)
- M レザー・ステアリング・ホイール
- M アルカンターラ・アンソラジット・ルーフ・ライニング
- M 専用キー・デザイン

さらに、M Sport パッケージ・プロの装備により、以下の装備が追加となる。

- M スポーツ・Sport ブレーキ・ハイグロスブラック
- M シートベルト
- ブラック・クロームの M スポーツ・エグゾースト・パイプ・トリム
- M スポーツ・エグゾースト・システム
- M ハイグロス・シャドーライン・エクステンティッド（マットブラック仕様のキドニー・グリル・フレーム&バー）

BMW X7 M60i xDrive

BMW X7 M60i xDrive では、M パフォーマンス・モデルらしいデザインとするため、主に以下を装備している。

- クローム仕様のキドニー・グリルに加えハイグロス・ブラック・マット・ブラックのダブル・バー付き
- キドニー・グリル右上の新 M バッジ
- M バッジ付きエア・ブリーザー（ハイグロスブラック仕上げ）
- M パフォーマンス・ミラーキャップ（ブラック）
- M スポーツ・ディファレンシャル
- M スポーツ・エグゾースト・システム
- ダブル・デザイン・テール・パイプ

ドライビング・ダイナミクス

クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデル BMW X7 xDrive40d（エックスドライブオンマルディー）は、最高出力 340PS（250kW）、最大トルク 700Nm を発揮する高効率な最新型の 3.0L 直列 6 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ディーゼル・エンジンに、ダイナミックな走りを実現する 8 速オートマチック・トランスミッション、4 輪駆動システム xDrive（エックスドライブ）、さらには、48V マイルド・ハイブリッド・システムが組み合わされ、システム・トータル最高出力 352PS（259kW）、システム・トータル最大トルク 720Nm を発揮する。

高効率ガソリン・エンジンを搭載する M パフォーマンス・モデル BMW M60i xDrive（エムロクマルアイ・エックスドライブ）は、高効率な最新型の 4.4L V 型 8 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンに、ダイナミックな走りを実現する 8 速オートマチック・トランスミッション、さらには、48V マイルド・ハイブリッド・システムが組み合わされ、システム・トータル最高出力 530PS（390kW）、システム・トータル最大トルク 750Nm を発揮する。

新型 BMW X7 には、「オートマチック・セルフレベルリング・コントロール付きアダプティブ 2 アクスル・エア・サスペンション」と「電子制御ダンパー付きアダプティブ・サスペンション」が標準装備されている。サスペンションへのエアの供給はホイールごとに個別に調整されるため、不均衡な積載状態を補正することが可能であり、あらゆる速度域で常に最適な車高を提供できるため、快適で安全なハンドリングを実現している。

更に、卓越性とハンドリング快適性を高める電動パワー・ステアリング「インテグレイテッド・アクティブ・ステアリング」、アンチロール・スタビライザーを最適化し、俊敏性、ハンドリング精度を向上させ、特にダイナミックなコーナリング時に効果を発揮する「エグゼクティブ・ドライブ・プロ」、直進走行時の

快適性向上に寄与する「アクティブ・ロール・スタビライザー」等、最新テクノロジーを標準装備とすることで、新型 BMW X7 は、まったく新しい次元の走行快適性と長距離ドライブの快適性を実現している。

ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

BMW 社が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が搭載されている。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路^{*1}での渋滞時において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能^{*2}となる。

- *1: 高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。
- *2: SAE International (Society of Automotive Engineers) が定めるレベル 2 の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

安全機能・運転支援システム「ドライビング・アシスト・プロフェッショナル」、完全自動駐車が可能となる「パーキング・サポート・プロフェッショナル」を標準装備

高性能カメラ&レーダー、および高性能プロセッサーによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の運転支援システムを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付）、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム）、ステアリング&レーン・コントロール・アシスト、レーン・チェンジ・アシスト、サイド・コリジョン・プロテクションおよび衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避ステアリング付）、クロス・トラフィック・ウォーニング、ペダル踏み間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。

標準装備となるパーキング・アシスト・プロフェッショナルには、時速 35km 以下で車両が直前に前進したルート最大 200m までを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となるリバース・アシスト・プロフェッショナル機能が採用されている。日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

さらに、駐車時に、ステアリング、アクセル、ブレーキ操作が一切不要な「パーキング・マニユーバ・アシスト（駐車経路自動誘導）」機能付き「パーキング・サポート・プロフェッショナル」の標準装備により、自宅駐車場、勤務先駐車場を車両に登録しておくことで、駐車スペースが近づくと、車両が自動で検知し、検知後は、完全自動駐車が可能となる。

コネクティビティ

コネクティビティにおいても優位性は高く、「OK, BMW」と話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能である。Apple CarPlay や Spotify への対応、BMW コネクテッド・ドライブ標準装備により、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、大きな利便性がある。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携帯していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。

内蔵する Personal eSIM により、ホットスポットを介したインターネットを利用^{*}し、Fire TV やスマートフォンのコンテンツを、車内のディスプレイにミラーリングする事も可能である。

*: 別途、NTT docomo との契約が必要となります。

BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報を IT ネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして 2013 年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2021 年夏には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「My BMW」を導入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。

BMW Intelligent Personal Assistant (インテリジェント・パーソナル・アシスタント)

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる BMW 最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMW のインテリジェント・パーソナル・アシスタントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW (オーケー・ビー・エム・ダブリュー)」だけでなく、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。

3 年間の主要メンテナンスが無償となる BMW サービス・インクルーシブ・プラス

3 年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」は、2016 年より BMW 全モデルに標準装備された新しいメンテナンス・パッケージであり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

主な車両諸元

- BMW X7 M60i
全長 5,170mm、全幅 2,000mm、全高 1,835mm、ホイールベース 3,105mm、車両重量 2,610kg、
車両総重量 2,995kg、排気量 4,394cc、V 型 8 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 530PS
(390kW) /5,500rpm、最大トルク 750Nm/1,800-4,600rpm、WLTC 燃料消費率 8.2km/L。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>